

講義コード	11C0274700	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員	今泉 文子	開講期	第1期
科目名	ヨーロッパの文化と社会A／比較社会IA				今泉 文子		第1期		
履修前提条件					備考				
授業の目的	オリンピックやワールドカップなどのニュースに世間は湧き、サッカー、ラグビー、野球をはじめ、人々は日常的にスポーツを享受している。この日常的となった近代スポーツこそ、ヨーロッパがその経済の発展とともに形成してきたものである。＜スポーツ＞という文化を通して、古来よりさまざまに展開してきたヨーロッパの社会の様相について講義する。								
到達目標	身近なスポーツ・文化の基底に、そのときどきの経済関係があることが理解できる。スポーツの発展過程をたどり、ヨーロッパ世界が、＜近代＞を生み出しつつ、それを全世界に広げていった過程と、その問題性を考察し、そこから、今日の世界のありようを自ら考察できるようにする。								
授業外学修内容・授業外学修時間数	受講には、必ずしも「世界史」、「世界経済史」について学習経験がある必要はないが、万一無い場合は、ある程度の知識を有するよう関連の書物を参照してほしい。また、授業中紹介した本の読書や映像の視聴を勧めたい。上記に示した授業外の学修は、60時間を目安に行うこと。								
授業計画	【第1回】＜スポーツ＞と経済の関係——アナール学派の歴史観から 【第2回】スポーツの語源、古代スポーツ（1）——ギリシア世界とオリンピック 【第3回】古代スポーツ（2）——ローマ帝国の遊興政策 【第4回】「祈り、働け」——キリスト教の普及と経済団体としての修道院 【第5回】戦争と狩猟がスポーツか？——騎士道精神と十字軍 【第6回】フィレンツェのサッカー「ユベントゥス」——メディチ家の繁栄 【第7回】大航海時代の国別覇権争い 【第8回】近代スポーツの発見と初期資本主義 【第9回】イギリス議会制度の発達とスポーツのルール化 【第10回】イギリス産業革命—労働と時間概念の変化 【第11回】パクス・ブリタニカ（1）＜祭典＞としての経済——万博について 【第12回】クリケット、フットボール、ラグビー 【第13回】近代オリンピック（1）——クーベルタンの理想と現実 【第14回】近代オリンピック（2）——身体と国家 【第15回】まとめ								
成績評価の方法	期末試験と授業内の小レポート（鑑賞した映像の感想文など）による。								
フィードバックの内容	リアクションペーパーについては、講評を翌週の授業の冒頭に行う。								
教科書									
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	決められたテキストを使用するのではなく、授業内で、適宜資料を配布する。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します。								
その他									